

新着本紹介

●一般書 ○児童書



- 死んでよ、アモール／アナ・ハルウィッツ(著)／宮崎 真紀(訳)／早川書房
- かこさとしの絵本を遊ぶ!／早未 恵理(著・絵)／加古総合研究所(協力)／偕成社
- お花のこどもたち366／くらはし れい(絵)／美村 里江(文)／アリス館



- おべんとうバスのころりん／真珠 まりこ(作・絵)／ひさかたチャイルド
- トラックくん(福音館の幼児絵本)／えのもと えつこ(文)／鎌田 歩(絵)／福音館書店
- まけたって、いい。(本はともだち♪ 31)／礒 みゆき(作)／はた こうしろう(絵)／ポプラ社

令和8年度読書感想文コンクール作品募集

募集期間 9月1日(火)～10月1日(木)

高齢者にすすめる本展

期間 9月1日(火)～21日(月)

敬老の日になみ、高齢者のみなさんにおすすめの本を展示します。

なかでもおすすめは、文字を大きくし、行間なども読みやすく調整した「大活字本」です。目にやさしく、長時間でも快適に読書を楽しめます。

その他にも、小説やエッセイ、健康に関する本など世代を問わず楽しんでいただける本をご用意しています。

9月10日は下水道の日

期間 9月5日(土)～13日(日)

毎日の暮らしに欠かせない下水道。働きや役割について学べる関連本を展示します。

認知症に関する本展

期間 9月22日(火)～30日(水)

9月は世界アルツハイマー月間です。

県では、認知症の正しい理解の更なる普及啓発や認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けた気運の醸成を図るため、「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」が設定されています。図書館では、認知症について理解を深める本や、認知症予防・介護に役立つ本の展示を行います。

シルバーウィーク中の開館日と休館日の変更

9月19日(土)～9月23日(水・祝)は通常どおり開館します。

9月24日(木)・9月25日(金)は休館です。



市立図書館 ☎ 72-9254

ホームページ

<https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/>

★開館時間 9:30～18:00

カレンダー 9月10日～10月9日

日	月	火	水	木	金	土
			9月	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	

休館日

○おはなしのへや 午後3時～
(絵本と紙芝居の読み聞かせ)

音訳ボランティア
「ひだまり」について

●活動内容 毎月、「広報まくらざき」をCDに音訳し、視覚障害の方へお届けしています。

●今月の担当 西村さん、田代さん

●会員募集中 問い合わせは図書館まで。

人生100年時代に知っておきたいこと

9月は認知症月間

～認知症を正しく知って 地域で守る みんなの笑顔～

2024年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、国民の間に広く認知症への関心と理解を深めるため、9月を「認知症月間」と定めています。

認知症は、年齢にかかわらず誰もがなり得るものです。近年では、本格的な認知症を発症する前の「早期のサイン」に注目が集まっています。

SCI(主観的認知障害)

検査では異常がないものの、自分で「もの忘れが増えた」と自覚する段階。

MCI(軽度認知障害)

もの忘れなどはあるが、工夫すれば日常生活は自立して送れる「認知症の一步手前」の段階。

MCIの段階で適切な予防や生活習慣の改善を行うことで、認知機能を維持したり、健常な状態へ回復したりする可能性があることが分かっています。認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、こうした前段階からの正しい理解と、周囲のサポートが欠かせません。「最近、もの忘れがひどくなった」「時間や場所が分からなくなることがある」など、少しでも気になるサインがあれば、一人で悩まずに、かかりつけ医や認知症疾患医療センターであるウェルフェア九州病院、地域包括支援センターへお早めにご相談ください。

■認知症について正しい知識を

地域や職場等において「認知症サポーター養成講座」を随時開催しています。

また、認知症について学びを深めたい方に向けて、認知症サポーターステップアップ講座を11月5日(木)・26日(木)に開催します。興味のある方は地域包括支援センターまでお問い合わせください。

■認知症ケアパスをご活用ください

「認知症ケアパス」とは、「認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ」のことで、地域にある医療・介護・福祉の地域資源等を一目でわかるようにまとめてあります。右の2次元コードよりアクセスできます。



■問合せ

地域包括支援センター TEL73-5131

防災掲示板

風が強くなる前に行動を

台風の暴風域に入ると、外に出ることは極めて危険です。だからこそ、風が強くなる前に「3つの行動」を終えておくことが重要です。

- ①屋外の物を片付け、飛散物を防ぐ。
- ②スマートフォンやモバイルバッテリーを満充電にする。
- ③避難先と避難経路を家族で確認する。

これらは短時間ででき、被害を大きく減らす効果があります。暴風域に入ってから外出は、転倒や飛来物による重大事故につながります。安全な場所で、早めの備えを心がけましょう。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL76-1086

環境・ごみ減量・動物愛護などに

関する情報を発信するコーナー

です。

今月のテーマ

火災危険物は

資源ごみの日に出しましょう



本市では、スプレー缶やライター類、電池類は「資源ごみ」の『火災危険物』として出して頂くようお願いしておりますが、「もえないごみ」に入れて違反ごみとなっているケースが見られます。この『火災危険物』が正しい分別区分で出されず、収集車やごみ処理場から出火する事故が全国的に発生しております。出火が原因で収集やごみ処理が停止するとみなさんの生活に大きな影響を及ぼします。

●火災危険物として資源ごみの日に出すもの

- ・ガス缶、スプレー缶(使い切って穴を空ける)
- ・ライター類(使い切る)
- ・電池類

※ひとつの資源ごみ袋と一緒にに入れて出してください。



問合せ 市民生活課環境整備係 TEL76-1097

知ってほしい、がん患者を支える
がん患者アピアランスケア
支援事業



健康づくり、生活習慣病
予防、介護予防等に関する
情報をお知らせします。

現在、日本では一生のうちに男性の3人に2人が、女性の2人に1人が、がんになっっています。毎年新たに約100万人ががんを発症しています。がんの診断方法や治療方法は時代とともに進化していますが、がんの診断と治療を開始し日々向き合っている方もいます。がんやがんの治療によって、脱毛や皮膚・爪の変化など外見が変わることがあります。外見が変わると、仕事や学校、買い物にいくなどの普段の生活を送ることが難しく感じる人もいます。「アピアランスケア」とは、外見が変わっても安心して自分らしく生活を送ることができる

- ように支えるケアのことです。本市では、がん患者が手術、放射線治療または化学療法に伴う脱毛や乳房切除による精神的負担を軽減するために使用する医療用ウィッグ(全頭用)や乳房(胸部)補正具の購入費用の一部を助成する事業があります。対象となる方は以下の①～③を満たしている方となります。
- ① 枕崎市内に住所を有している方
 - ② がんと診断され、がんの治療(薬物療法、放射線治療、手術等)を受けていた、または現在受けている方
 - ③ 他制度による助成等を受けていない方
- 助成金額
○医療用ウィッグ(全頭用) 上限2万円
○乳房胸部補正具 上限1万円
- 詳しくは市ホームページで確認、または健康センターまでお問い合わせください。
- 9月30日(水)、10月2日(金)に今年度最後のセット健診があります。ぜひ、この機会に受診をお願いします。
- 問合せ 健康・こども課健康増進係(健康センター) TEL7217176